

# 木津川市

第8号

## 議会だより



本会議	2～4
補正予算特別委員会	5
予算特別委員会	6～7
常任委員会	8～11
特別委員会	12

代表質問	13～17
一般質問	18～25
組合議会報告	26～27
わたしの意見	28

ピカピカの一年生  
(南加茂台小学校)

# 施設の整備に配慮

3月定例会を、2月27日から3月27日までの29日間の会期で開催した。21年度一般会計予算、20年度一般会計補正予算、行政地域設置条例など議案49件、発議（附帯決議）1件、同意・諮問各1件を審議した。

## 21年度予算22.2億2800万円を可決

### 討論

一般会計予算は、前年比4億7200万円（2.1%減）減少した。景気減速の影響から市税や交付金などの減収が見込まれ、財源確保が厳しい状況にある。

### 原案賛成

本予算は、河井市政のカラーがようやく出た。子育て支援策や合併のスケジュールメリットを追求しながら、行財政改革に取り組む姿勢を評価する。

（倉克伊）

### 修正案賛成

市長は、「第一次市総合計画」の初年度として①子育て支援②安心・安全な教育施設の整備③観光資源の活用と地域文化の推進の3つの分野を重点予算として提案した。

日本共産党議員団から組み替え動議の修正案が提出された。

### 修正案は賛成少数で否決

### 原案賛成多数で可決

（賛成20人・反対4人・退席1人）

百年に一度の不況に、国は1億5800万円の補正を組んだが、市は対応していない。今すぐ、相当する基金等で市民を守る予算に組み替えをすべき。

（村城恵子）



元気いっぱい（木津保育園）

## 清掃センター建設 審議会を設置

新清掃センターの候補地5カ所を更にしほり込むための審議会を設置し、整備基金も設けた。

審議会の定員は16名。うち8名が市民公募。日本共産党議員団より応募者全員を委員とする修正案が提出されたが、賛成少数で否決。

## 原案全員賛成で可決

## 介護保険料決まる

21年4月から3年間の保険料を改定。保険料率は9段階に区分。

## 反対討論

高齢者の3人に1人、

# 平成21年度一般会計予算

# 子育て支援・教育

## 前納報奨金22年度廃止

前納報奨金制度は、税収の早期確保や納税意識の高揚など、当初の目的が達成していることや、利用対象者が限定しているために、平成22年度から廃止される。日本共産党議員団から報奨金5千円以内は存続との修正案が提出された。

### 討論

#### 原案賛成

低金利時代では前納してもメリットがない。利用者が限定されている。府下では本市以外は廃止。報奨金の3500万円は他の事業に回せる。  
(伊藤紀味枝)

#### 原案・修正案反対

不景気の折りの納税意欲を高める方策として良い制度だと思う。無くすと前納者が減り、年4回の納付書を送る手間や督促状を送る作業が増える。  
(曾我千代子)

#### 修正案賛成

利用対象者が限定されている。廃止時の影響も調査し、対策を想定。市内の市で存続しているのは本市のみ。3500万円を市民全体へ活用可能。  
(呉羽真弓)

#### 修正案賛成少数で否決

原案賛成多数で可決  
(賛成20人・反対5人)

#### 森岡 謙

減るので修正案に賛成。



## 行政地域制度設置スタート

行政地域を木津18地域・加茂9地域・山城6地域にまとめ地域長・副地域長を設置するもの。

### 討論

#### 反対

制度案について、市民の理解と納得が得られていない。当尾連合区から要望書が出された。制度の不備もあり、拙速な制定には反対。  
(酒井弘二)

この条例は、旧木津町の条例に合わせただけで、住民に理解を得る努力もなく押しつけた。重要な制度は住民の理解の基にあるべきだ。  
(山本喜章)

#### 賛成

行政説明不足や議員の補足説明不足を指摘。少子高齢化が進む中、社会情勢の著しい変化に対する対応や過疎化地区の運営も維持出来ない。  
(梶田和良)

#### 賛成多数で可決

(賛成17人・反対8人)

#### 付帯決議

各地区説明会等の開催や施行後の検証を求める決議

#### 賛成多数で可決

(賛成22人・反対1人・退席2人)

## 総合計画基本構想

本市が目指すべきまちの将来像を明らかにし、10年後は8万人都市と定め、将来の姿を示す都市構造を設定する。計画期間は21年度から30年度とするもの。

#### 反対討論

自治体は、福祉の増進が役目。総合計画では、①学研開発で地元負担が増大。②同和関連事業の継続。③福祉・医療・教育の削減と負担の増大。  
(宮嶋良造)

#### 賛成多数で可決

(賛成21人・反対4人)

#### 賛成多数で可決

(賛成21人・反対4人)

住民税課税者が引き上げの対象。高齢者の負担増と景気悪化による生活苦。その上、年額27000円の値上げ。基金で据え置きできる。  
(宮嶋良造)

## 一般会計補正予算（第3号）

国の二次補正を受け、  
の修正案が提出されたが  
修正年度事業の前倒し、年  
度末の事業確定により、  
賛成少数で否決。

1億2220万4千円を  
減額し、237億965  
0万5千円とするもの。  
原案賛成多数で可決  
（賛成21人・反対4人）

森林公園管理委託料削減

## 交流会館の指定管理

交流会館の指定管理者  
は、指針に基づく評価の  
結果、宮城建設（株）となっ  
た。

### 討論

反対

指定管理者制度など  
という制度は、市民を育て  
てしか成り立たない制度  
だ。市民との協働を謳う  
なら、市民参画のNPO  
等に委託すべきである。  
（曾我千代子）

公募期間が短く、周知  
もHPのみ。応募書類提  
出まで1週間は、NPO  
などの新規参入が困難で

現管理者に有利。結論あ  
りきの疑念、払拭できず。  
（呉羽真弓）

賛成  
総合点数評価方式で合  
計点数の最も高い団体が  
選ばれた。選定委員会の  
委員には専門家も入るな  
ど、選定過程においても  
透明性が確保されている。  
（出栗伸幸）

## 指定管理者制度、今後の検討を

山城町域の文化センタ  
ー、プール、公園の施設  
を教育委員会の所管とし、  
を教育委員会の所管とし、

（梶田和良）

### 討論

反対

教育委員会に改めるこ  
とは良とする。指定管理  
制度と教育部局の運営  
（官と民）の比較でも、公  
の直営方法が現在成果を  
上げている。

賛成

指摘してきた問題点を  
改善している。この1年  
で市全体を見据えた検討  
統一及びさらなる検証に  
努める姿勢が確認できた  
ことにより、賛成。  
（呉羽真弓）

賛成多数で可決  
（賛成23人・反対2人）



アスピアやましろ

## 山城町森林公園料金改定

宿泊客減少により、管  
理、運営が厳しく、収支  
改善のため、環境整備協  
力を改定するもの。大  
人100円を200円に、  
子ども50円を100円に  
値上げするもの。

赤字穴埋めが料金引き  
上げでは安易だ。今後の  
方向性を明確にして事業  
改善しなければ効果は出  
ない。民間活力の指定管  
理者制度が問われ反対。  
（村城恵子）

### 討論

反対

赤字をすぐに市民に押  
しつけるのは問題だ。良  
い場所である事をPRし、  
入園者増で赤字解消を図  
るべきだ。もっと、市が  
財政協力をしても良い。  
（曾我千代子）

賛成

環境整備協力金は、整  
備に対し応分の負担を求  
めるもの。現在の整備費  
は協力金収入の2倍以上  
の額。類似施設に比べ高  
くないのでやむを得ない。  
（西岡政治）

賛成多数で可決  
（賛成18人・反対7人）

## 定額給付金を予算化

20年度一般会計補正予  
算（第4号）が議会最終  
日に提案された。主な内  
容は、定額給付金・子育  
て応援特別手当支給と公  
共下水道の消費税修正申  
告による補正。補正額は

11億6470万1千円増  
額。  
定額給付金の経済効果  
やプレミアム商品券につ  
いては考えるかなどの質  
問が出た。

全員賛成で可決

全員賛成で可決

# コンビニ収納への取り組みはじまる

## 補正予算特別委員会

3月11日、補正予算特別委員会を開会。1億2220万4千円を減額し、20年度予算額を237億9650万5千円とする内容で、賛成多数で可決した。

### 主 な 質 疑

- Q** 深刻な経済不況の中、基金への戻し入れは、なぜか。地域での雇用対策を進めるべきである。
- A** 入札残を戻した。将来をみすえて、財政の健全化に取り組む。市の活性化は、国の補助により対応する。
- Q** コンビニ収納は、いつからできるようになるのか。1千万円も掛けて軽自動車税だけなのか。
- A** 21年度に準備して22年度からの対応。コンビニや収納代理店の関係もあり、軽自動車税を中心に、今後、何を加えるか検討する。
- Q** 次世代育成支援行動計画の策定手順は。
- A** 前期行動計画を評価しつつ、木津川市としての計画を策定。プロポーザルにより業者を決定。外部検討委員会、内部検討委員会にて検討する。ニーズ調査の結果をふまえて、パブリックコメントも取り入れる。木津川市らしい特色ある計画にしたい。
- Q** 幼稚園の職員不足は、園長も保育に入って、何とか凌げたとの答弁だが。私立「木津ヶ丘幼稚園」不許可に対応するために、職員増が必要である。
- A** 「木津ヶ丘幼稚園」の採用内定者を、市の臨時職員に採用することも検討している。
- Q** 「北綺田ほ場整備は、どうなっているのか。なぜ墓地まで整備する必要があるのか。」
- A** 落札業者の倒産により、その下請け業者に引き継がせるように協議をしている。
- 墓地の整備は、墓地委員会から墓地面積確保の要望として出てきたもの。ほ場整備と一緒にやるのが妥当と考えた。
- Q** 森林組合に委託して

いる山城町森林公園の指定管理はどういう形態なのか。制度に問題はないのか。

**A** 今までは、全額利用者負担で賄われてきていた。公園を維持するには、80万円の赤字補填は必要な部分である。市の負担する金額を把握できないままに指定管理にしたことに問題がある。公園には運営委員会があり、森林組合が監査をしている。

### 討 論

**反対**  
指定管理者の森林組合に赤字補填をするなど、安易な委託であり、基金に戻すべきだ。

**賛成**  
指定管理は市の直営より安価である。80万円補填しても行革に叶っている。

賛成多数で可決  
(賛成9人・反対3人)



木津幼稚園

委員長 曾我千代子  
副委員長 伊藤紀味枝  
委員 大西 宏  
出栗 伸幸  
深山 國男  
阪本 明治  
村城 恵子  
片岡 廣

倉 克伊  
梶田 和良  
宮嶋 良造  
中野 重高  
織田 廣由

# 3日間集中審議

予算特別委員会

3月23日から25日の3日間、議長を除く全議員で予算特別委員会を開会。

(委員長 吉元善宏・副委員長 中谷裕亮)

21年度収入支出222億円の一般会計予算を審査し、賛成多数で可決した。

## 主な質疑

議会・市長公室・総務部・出納部・支所・行政委員会

21年度採用は一次募集16人、追加募集が7人。

Q 七夕まつり100万円、

Q 地域活動支援交付金(コミュニティ活動) 14

98万円の内容及集会所整備等補助金の根拠は。

A 総務課長 地域コミュニティの再生、相互扶助

が目的。支援交付金は2万2400戸分。集会所整備等補助金は上限60万円が15カ所を予定。

Q 21年度の職員数は。

A 人事秘書課長 20年4

月現在の職員数は501人、21年4月は504人。20年度退職者数は20人。

A 副市長 今後のあり方や交通問題、警備関係等について検討が必要であり、計上をみおくれた。

Q コミュニティバスの社

会実験が行われ、当尾線は大幅に増えているが、他の路線では1日10人の条件がクリアできていない。また、きのつバスの料金改定の見直しは。

A 学研企画課長 利用を増やすために恭仁宮、当

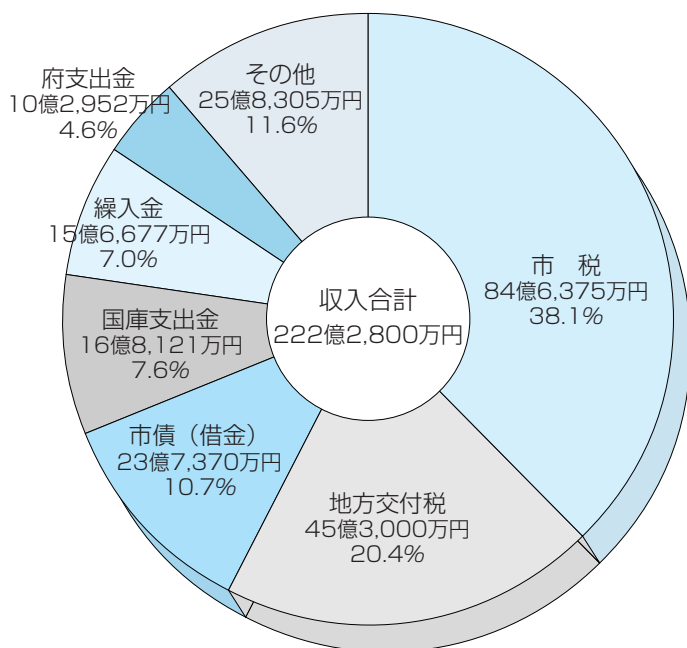
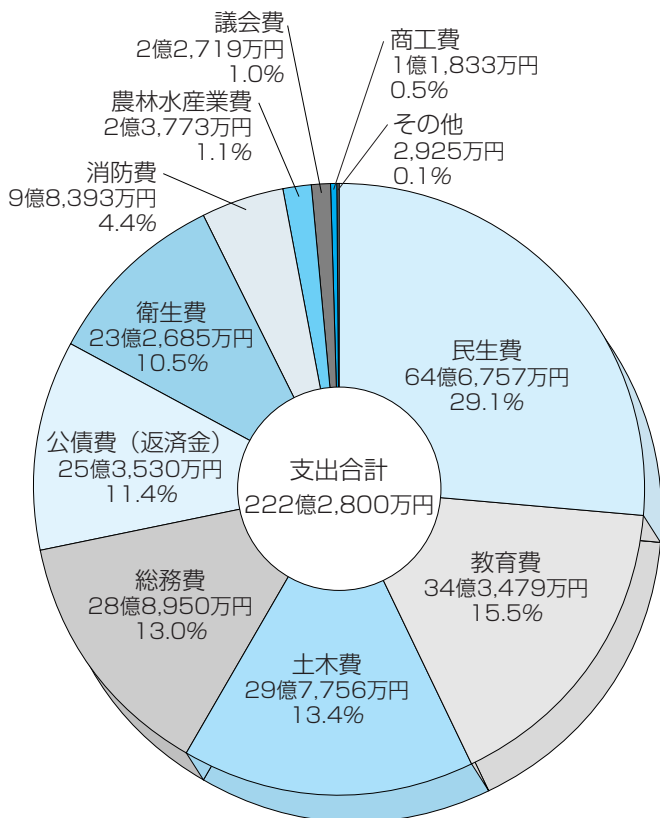
尾の観光とリンクした取り組みをしている。継続条件に満たない路線が多くあり、コミュニティバスの利用促進を図りたい。

Q 府との税の共同化はど

う進むのか。A 収納対策課長 今後のスケジュール案は21年7月に広域連合を設立、22年1月に徴収業務の開始。課税業務は23年4月を目

標。

## 一般会計予算構成



生活環境部・保健福祉部

**Q** 今年度の敬老会の開催場所は。

**A** 高齢介護課長 加茂文化センターで実施。参加者への周知を徹底したい。

**Q** 清掃センター建設審議会での用地選定の時期と業務委託内容の説明を。

**A** 生活環境部長 1年以内の候補地選定を諮問。委託はごみ処理基本計画策定と審議会運営支援業務を予定。

**Q** 妊婦健診の公費負担が14回に増えた。国の補助は2年間だけだが。

**A** 副市長 子育て支援は主要な政策であり、国に存続の働きかけを行う。

**Q** 20年度途中から多重債務の相談コーナーが庁舎北別館で行われたが、本年度は。

**A** 観光商工課長 昨年は、相談者が138人あり、大きな効果があった。21年度も4月から月2回実

施をする。

建設部・上下水道部・教育部

**Q** 児童減少により当尾小学校を22年4月から統廃合するという説明だが、地元と議論すべきでは。

**A** 教育部長 教育委員会で2回協議して、統廃合の方針を出した。また、説明会も2回開催した。決定事項ではないので、説明会を開いて、さらに

教育委員会で検討している。

**Q** 木津駅前区画整理事業の最終の完成は。

**A** 駅前整備事務所長 3年間の事業延長を申請。総事業費は77億円程度を考えている。

**Q** 入札改善をどう考えているのか。

**A** 建設部次長 20年度に透明性と競争性を高めるため入札改革を行った。

工事に関しては19年度落札率81・6%、20年度72・7%となった。

**Q** 自校給食の調理室改修予算が計上されていないが、廃止はいつ決めたのか。

**A** 学校教育課長 23年4月からのセンター方式への移行を今年2月の政策会議で提案した。

◆ 子育て支援

- \* 地域子育て支援センター事業の実施 3,045万円
- \* 放課後児童クラブの充実 1億3,492万円
- \* 妊婦健康診査の充実 (公費負担14回へ) 5,567万円
- \* 児童数増加に対応するため校舎の増築 (州見台小学校)【新規】 1億8,305万円
- \* 義務教育施設の耐震補強 (木津小学校南・西校舎) 7,221万円
- \* 学校給食センターの建設【新規】 8億円

◆ 都市への基盤づくり、その他の重要施策

- \* 木津駅前土地区画整理事業 3億4,623万円
- \* 清掃センターの整備【新規】 1,035万円
- \* 障害者自立支援給付費等 4億7,864万円
- \* 平城遷都1300年と国民文化祭に向けて 2,100万円
- \* 農業基盤整備の推進 5,446万円
- \* 企業・研究施設の誘致 1,959万円
- \* コミュニティバスの運行、地域公共交通サービスの充実 1億116万円
- \* 加茂支所の改修 (加茂図書館の移設) 5,193万円
- \* 木津城址公園の整備【新規】 3億4,050万円

一般会計予算の主な施策



整備がすすむ木津駅前

# 常任委員会のつぎ

## 前納報奨金 制度の廃止

総務委員会

3月5日に委員会を開会し、議案18件を審査し、全議案可決した。

全議案可決

### ■税条例の一部改正

22年度より、前納報奨金を廃止する提案。

Q 再考する考えは。

A 市財政も厳しい。報奨金3500万円は他のサービスの向上に努める。

Q 金利が安いから廃止するの。

A 税の不公平感の解消と行財政の観点からの廃止。

報奨金を全廃するのでなく、上限を5千円とする。

る修正案が出されたが、賛成少数で否決。

原案に賛成の討論があった。

原案賛成多数で可決  
(賛成5人・反対1人)

### ■行政地域設置条例の制定

Q 合併協定項目でどう位置づけをしたのか。

A 区制度は、当分の間現行どおりで、新市に引き継ぐ。新市で協議し現

行制度を見直す。

Q 住民自治を進めるには、この制度は阻害しないのか。

A 行政とのパイプ役としてお願いしてきた。住民との協働を促進する形でこの制度をスタートしたい。

Q 住民説明会を開催し、柔軟に見直しをしては。

A 制度の周知徹底、区との対応はやっていく。運用する中で検証して、必要であれば見直し、条例改正もする。

反対2人、賛成2人の討論があった。

賛成多数で可決  
(賛成4人・反対2人)

### ■ふるさと応援基金条例の制定

Q 制定の趣旨は。

A 税法改正で寄付金制度ができ、特色ある事業展開が図れるよう設ける。

全員賛成で可決

### ■第1次総合計画基本構想の策定

Q まちづくりの基本原則、情報共有の原則で積極的な情報開示が重要。特に意思形成過程の情報を市民が共有し、修正することが文言で担保されるのか。

A 情報公開をし協働の原則に基づき、市民の参加・参画を進める。

賛成多数で可決  
(賛成5人・反対1人)

### ■第1次総合計画基本計画の策定

Q 山城病院支援の文言があってもいいのでは。

A アンケートでも、救急医療や病院に対する意見は多くあった。具体的には実施計画に入れる。

賛成多数で可決  
(賛成5人・反対1人)

### ■職員の給与に関する条例の一部改正

Q 就業時間の15分短縮で市民サービスが低下する。時差出勤等に対応できないか。

A 4月から実施するが、当分5時30分まで窓口対応を行う。



15分短縮となった窓口



# 今後3年間の 介護保険料 決まる

厚生委員会

3月6日に委員会を開会し、議案11件を審査し、全議案可決した。

**全議案可決**

## ■介護保険条例の一部改正

**正** 介護保険料の基準額は4500円で変わらないが、今まで7段階だった区分を9段階に細分化するものである。

**Q** なぜ、住民税の課税の方に、さらに負担を求めるのか。7、8、9段階の人数はどのくらいか。

**A** 相互扶助の考えであり、低所得者に配慮したものである。7段階1768人、8段階は1534人、9段階は569人と、推計している。

**Q** 国の補助が無くなり、毎年保険料が上がることになるのか。

**A** 国補助は1年目は10割、2年目は5割、3年目は0になるが、3年間を見越して算定している。保険料が上がることはない。

反対討論があった。

**賛成多数で可決**  
(賛成4人・反対1人)

## ■国民健康保険特別会計予算

55億5832万円と定めるものである。

**Q** 特定検診の20年度の受診率はどのくらいか。新年度はどのくらいにするのか。

**A** 20年度は3144人で30・11%であった。新年度は4000人で38・3%を予定。最終目標は65%である。

**Q** 無保険者の人数は。把握できない。ゼロではないと思っている。

**A** 全員賛成で可決  
(一人退席)

## ■後期高齢者医療特別会計予算

5億3207万円とするものである。

**Q** 人間ドックもなく、葬祭費も木津川市国保は7万円なのに後期高齢者医療広域連合では5万円である。広域連合内ではどのような議論になっているのか。

**A** ドックは市町村での対応とされている。葬祭費は木津川市だけが7万円だが、他市町村のほとんどは5万円である。

**Q** 国は20年度、21年度と軽減措置を執っているが、将来的にはどうか。

**A** 均等割9割軽減など期限付きの措置である。制度については、国を挙げて、1年かけて見直すと言われているところである。

**Q** 保険料の口座振替が選択できるようにしたが、現状は。

**A** 昨年度の改正で条件付きの選択制になり、秋には無条件での選択制が導入され、周知を図った。収納率は2月末現在で94・09%である。

反対討論があった。

**賛成多数で可決**  
(賛成4人・反対1人)

## ■介護保険特別会計予算

34億2344万円とするものである。

**Q** 介護認定審査会は生活を反映しない審査になる方向だ。新制度では、より判定が厳しくなり、軽度の人は判定が受けられない。こんなものは廃止すべきでは。

**A** 国に従い、進める。

**Q** チェックリストをホ

ームページに掲載すべきであり、返信費用は市が持つべきでは。支所に直接提出できるようにならないのか。

**A** 掲載は検討する。返信は本人負担をお願いしたいが、直接提出については進めていきたい。反対討論があった。

**賛成多数で可決**  
(賛成4人・反対1人)



特別養護老人ホームゆりのき (木津川台)

# 森林公園 入園料を 値上げ

産業建設委員会

3月9日に委員会を開会し、議案11件を審査し、全議案可決した。

**全議案可決**

## ■山城町森林公園条例の一部改正

環境整備協力金（入園料）を大人1000円を2000円・子ども500円を1000円に値上げする改正

Q 値上げの前に入園者の増を図るべきだ。

A 120万円の赤字だ。近隣の類似施設を参考にした。

Q 赤字になったら安易に上げ、黒字が出たら返すのか。

森林組合と森林公園の役目を区別せよ。混同しているのが問題。

指定管理者制度と市直営の場合と数字で比較すべき。

将来の運営方針を明確にせよ。値上げを繰り返すことになる。

A 見直して、改善する。

### 【反対討論】

赤字と分かっているながら指定管理を引き受け、安易に値上げをする。値上げの前に運営を活性化するための努力がなされていない。

### 【賛成討論】

公園は全国的に黒字経営が難しい。環境整備協

力金の性格上、整備に見合った対価としてやむを得ない。

賛成多数で可決

（賛成3人・反対2人）

## ■公共下水道事業特別会計予算

予算総額は、25億2563万円とするもの。

Q 下水道計画の策定はなお時間がかかるのか。

A 基本計画の審議を新年度で行う。

Q 計画は予算に反映されているか。

A 合併浄化槽との比較をせねばならない。地域審議会や、政策会議で方向性を見出したい。

全員賛成で可決

（一人退席）



山城町森林公園

## ■水道事業会計予算

Q トンあたり旧木津140円、旧加茂148円、旧山城150円と水道料金に格差がある。旧3町の料金の統一をすみやかに実施すべきだ。

A 京都府に府営水の料金の確定も申請しているが原案ができていない。3町の負担が不公平になっているので審議会から答申がもらえるよう努力する。

Q 2億8000万円の府営水の負担はどこから出ているのか。

A 水道の基金が34億円あるので一般会計からでなく基金から出す。

全員賛成で可決

（一人退席）

# 交流会館の 指定管理者 決まる

文教委員会

3月10日に委員会を開  
会し、議案1件を審査し、  
全員賛成で可決した。

**議案可決**

## ■交流会館の指定管理者 の指定

**Q** 応募者数と事業計画  
の内容は。

**A** 応募者は3社で、事  
業計画内容は、来館者の  
誘導や講座の開設など。  
選定委員各自が指針に基  
づいた採点をし、その合  
計が、結果として評価点  
数の差異となった。

**Q** 前回と同じ団体だ  
が、当初の指定管理とな  
った経緯は。他の応募団  
体は。

**A** 社会教育施設だった  
が、18年より公募により  
3年間の指定管理者とな  
った。2番目の団体は、  
市内の財団法人。

**Q** 利用者アンケート  
で、使用料が高い、職員  
の対応が悪い、また、音  
響や防音問題、ピアノの  
不整備がある。

**A** 備品や音響などは、  
施設の特性に応じた利用  
をお願いする。今日まで  
の評価は、市民に開かれ  
た運営がされ、適正と考  
える。

**Q** 今回の指定期間が1

年間なのはなぜか。

**A** 料金統一など、施設  
のあり方を検討すること  
で1年とした。

**Q** 新しい団体が参画し  
やすい制度としているの  
か。過去の既得権が優先  
されているように見える。

**A** 制度として、広く参  
画を求めている。点数は  
あくまでも、総合評価の  
結果である。

## 全員賛成で可決

**ワード**

**「プロポーザル  
方式」とは**

提出された提案  
書について、評価  
基準に基づき審  
査を行い、最も優  
れていると認め  
られる提案書の  
提案者と契約を  
する方式。

## 〈報告〉

一、(仮)木津第三中学校

は、平面配置プランが  
提示され、図面策定中。

二、私立木津ヶ丘幼稚園  
の許可申請取り消しに  
ついて、申し込みの児  
童は、公立・私立の協  
力で受け入れ可能とな  
った。

三、新設給食センターに  
ついては、給食機器は、  
プロポーザル方式で業  
者決定。設計は、15社  
入札で決定。基本設計、  
実施計画を行なう。

四、当尾小学校の統廃合  
については、PTA・  
就学前の保護者に対し  
2回の説明会を行った。  
教育委員会として統合  
の方向で検討する。



中央交流会館 (いずみホール)

## 住民参加の 審議会を設置

### 清掃センター建設特別委員会

3月12日に委員会を開  
会、議案2件を審査し全議  
案を可決した。

**全議案可決**

#### ■清掃センター建設審議 会設置条例の制定

委員16人（任期2年）  
で組織する審議会を設置、  
建設用地の選定を行って  
いくもの。

**Q** 公募委員の人数は。  
住民主体で進めるのは正  
しいと考えるが、構成員  
には行政が入っているの  
か。

**A** 公募委員は中学校区  
から各2人、他に学識経  
験者・弁護士ら3人、環  
境審議会から1人、廃棄

物減量等推進員から1人、  
議会から2人、都市計画  
審議会などから1人の計  
16人。

住民参画の必要性から  
8人を市民公募で決める。  
過去の失敗を繰り返さな  
いため、住民の意見を尊  
重する。

**Q** 市民8人の選出で民  
意が反映できる審議会に  
なるのか。委員数を増や  
すことを検討したか。

**A** 他の審議会、奈良市  
などを参考に、半数とし  
た。市民意見を反映させ  
る環境づくりに取り組む。

**Q** 審議会委員の任期は  
2年。場所の決定は何年  
を目途か、確約を。

**A** 早期稼働するため、  
諮問の中で計画日程を入  
れる。できる限り早く、  
1年以内との意見がある  
ので、その方向で進めた  
い。建設計画実現のため  
任期前半でまとめたい。

**Q** 公募委員の選定基準  
は。

**A** 募集要領案で応募で  
きない者は  
①市外の者  
②20歳未満の者  
③職員、議員  
④他の附属機関の委員

**Q** 審議会の日程は。調  
査は計画の5カ所か。そ  
の5カ所の住民代表を入  
れるべき。現地の視察は。

**A** 4月広報で建設計画  
を知らせ、5月に公募抽  
選する。審議会は8回の  
予定だが、委員の意向を  
聞き進める。情報公開を

十分行い、公募の中で対  
応する。現地の視察も考  
えている。

審議会委員の公募市民  
8人を希望者全員とする  
内容の修正案が提出され  
たが、賛成少数で否決。

原案賛成・修正案賛成  
の討論があった。

原案賛成多数で可決

（賛成11人・反対1人）

#### ■清掃センター建設整備 基金条例の制定

建設資金を確保し事業  
の促進を図るための基金  
を設置するもの。

全員賛成で可決

#### 清掃センター建設計画

打越台環境センターに代わる  
施設として、ごみ焼却場木津川工  
場を整備する。建設候補地5カ所  
から、審議会で最終選定。

施設規模は概ね100tのストー  
カ炉とし、木津川市と精華町のご  
みを処理する。

建設予定時期は、用地選定後に  
環境アセスなどを実施し、概ね8  
年から10年後の稼働をめざす。

概算事業費は98億4千万円。



打越台環境センター

## Q 知恵を出して

### 景気、雇用対策を

## A 市でできることは

### 補正予算で対応

〔質問〕市長は現在の経済、雇用問題をどう思うか。また、景気、雇用対策を市でできることはすべて職員が知恵を出しあつて手をつくすことだ。まず国の交付金や市の基金を使い次の項目を実現するよう提案する。

①市内の事業所の実態調査②定額給付金が市内で多く利用してもらえよう、プレミアム付商品券の発行③耐震改修助成制度の創設④小規模工事の登録制度の実施⑤臨時職員の採用

〔市長〕

住民生活をはじめ雇用に関しては非常に厳しい。市としても職員の追加募集や税務業務での臨時職員の雇用に取り組んだ。また、国の交付金の活用は小学校の校舎等

の増築工事、地域生活基盤の確保、教育環境の整備に活用。提案については①実態調査は必要②③商工会で商品券の検討を含め、販売促進イベントについて調整している③

本年度3件分の予算を計上し耐震改修事業を進める④小規模事業者の受注機会を拡大する⑤求人者に対しては臨時職員の登録制を活用していく。提案された項目でできることは補正予算等で対応する。

弱者に救済策を

〔質問〕福祉制度全般の改正で高齢者をはじめ多くの人が苦しんでいるとき、弱者救済のため、次の項目を提案する。①介護認



森岡 譲

定の新方式の判断基準の運用は大丈夫か②低所得者への介護保険料の免除や利用料負担の軽減③障害者自立支援法の応益負担分の支援④国保料滞納者に資格証を今後も発行するな。

〔市長〕①認定調査員の指導、研修を重ね、信頼して頂ける審査判定にする②市独自の軽減策は無理③制度改正に沿って事業を進める④機械的一律的に資格証を発行しない。

どうするかわからない農業

〔質問〕これからの農業施策のために次の項目を提案する。①耕作放棄地の有効利用②地産地消の拡大③農産物のブランド化への支援④販売拡大への支援



地元産品の販売を行うはなやか市

〔市長〕

①経営規模拡大農家や農業就農者への農地の貸し出を行なう。②学校給食の地場野菜の利用拡大を進め、食育に取り組む③ブランド産品の生産拡大を推進していく④

直売所や産直方式の拡充で販路拡大に向けた支援の協議を進める。

## Q 春を呼ぶ「定額給付金」迅速に

### A 準備作業は万全

〈質問〉「定額給付金」「子育て応援特別手当」を給付するための準備状況は。

〈市長〉2月10日に定額給付金等プロジェクトチームを設置。今後のスケジュールは、電算システムの導入、金融機関・郵便局など関係機関との調整、住民周知の方法、交付要綱、予算案の作成など細部にわたって検討調整を行っていく。

申請書の郵送時期は4月中旬と想定し、受付業務を開始し、第1回口座振込による給付を4月下旬から5月上旬を予定している。受付開始当初は混雑や混乱が生じるおそれがある。申請には免許証、預金通帳等のコピーが必要。正確かつ迅速な事務を進めるため、市民

の皆様の協力をお願いしたい。また、子育て応援特別手当の申請方法は、給付時期など定額給付金と同様の手法で進めていく。

### 国の景気対策予算は

〈質問〉「地域活性化・生活対策臨時交付金」の予算をどう使うか。

〈市長〉予算編成作業の中で、地域生活基盤の確保として、教育環境の整備に重点的に活用した。

### 〈質問〉その理由は。

〈市長〉生徒数が増え、緊急性のある学校整備を選んだ。

### 私のしごと館、今後は

〈質問〉木津川市にとって私のしごと館は重要な施設と考えるが、市長の考えは。

〈市長〉平成15年にオープンし、年間30万人を超える方が来館され、利用者からは高い評価を得ているが残念ながら平成22年8月までに廃止する事が公表されている。本館の存続を願い、精華町長と連名で要望書を提出している。

また、本館を活用した学研都市就職フェアを開催するなど、私のしごと館の機能を活用した雇用促進にも取り組んできた。今後、国家プロジェクトである関西学術研究都市の趣旨に基づいた施設と



織田 廣由

して生まれ変わるような意見を述べていく。さらに、府や近隣市町村と連携し、館の存続や必要性を訴えていく。

### 市の問題解決は

〈質問〉市道4020号のガードパイプ、加茂町のプールの改修は。また、その後の廃屋対策は。

〈市長〉個々の対応については、各係各課連携して対応していく。また、規制の見直し整備も含め、多面的に検討を進めていく。



準備の進む定額給付金



倉 克伊

〈質問〉①本年、ようやくマニフェスト実行に向けた予算編成と感じる。後半で河井市政の特色を

出し、職員の意識改革も必要だ。  
②総合計画を具体的に進めるための実施計画と、その裏付けとなる財政計画を策定すべきと考える。  
〔市長〕①今日まで財政基盤強化の企業誘致や、市の一体性を確保するための施策、放課後児童クラブなど子育て支援拡充

を実施した。  
今後は、清掃センター建設の早期解決や保育施設の拡充などを行財政改革と共に推進する。  
②実施計画を本年中に策定し、財政収支見通しを指針として、重要性・緊急性を考慮して実施する。

## Q 河井市政2年間の実績と今後は A 健全運営で市民のニーズに



尾崎 輝雄

〈質問〉①枠配分予算による予算編成の成果は。  
②枠配分の問題と評価は。

③行財政改革推進室設置による予算編成の成果は。  
④行財政改革実行に向けた21年度取り組みは。  
⑤8年後交付税10億円削減されるその取り組みは。  
〔市長〕①職員の意識改革につながった。今後も財政健全化と行政運営の効率を推進する。

②全体予算の中で調整し、査定方法、仕組の見直し。  
③行財政改革推進室を同席させ、進捗状況を把握し予算編成に取り組む。  
④人事評価システムの導入、市有財産の利活用、上下水道料金の見直し。  
⑤今後約5億円の削減、新たな財源対策を行う。

## Q 今後の木津川市の健全財政は A 予算要求の枠方式を導入した

行革観点からみた事業は

〈質問〉①新設給食センター運営の統一は。

②幼稚園バス費用増額は。

③保育園民設民営募集は。

④今後のコミュニティバスの見直しは。

⑤各施設の管理維持は。

⑥商工会は。

⑦社会福祉協議会およびシルバー人材の今後は。

⑧土地開発公社の土地は。

⑨今年の花火は。

〔教育長〕①23年4月の予定。

②あらゆる角度から検討。

③指定管理者制度で運営。

〔市長〕③応募なし。

④運用の統一。

⑥新商工会館を目途に。

⑦一カ所で業務遂行のため選定委員会で協議する。

⑧個別に検討。

⑨中止する。

金融危機への備えは

〈質問〉①金融機関ごとの預金借入バランスは。

②金融機関の経営状況は。

③基金保全対策は。

〔市長〕①預金借入額のバランスに大差小差がある。

②金融機関に問題なし。

③パイオフ対策を検討。



企業誘致が進む木津南地区

### Q 折り返し迎えての自己採点は

## A 全力で取り組む



高味 孝之

〈質問〉議員は、予算が伴う政策の策定はできない。しかし、首長は予算編成権や執行権、人事権を

持ち、補助機関として多数の職員を有する。数値目標を示して、住民と契約を交わし、約束を果たす義務が生じる。市政前半を終え、市長の自己採点は。

どこへ向う清掃センター  
〈質問〉今回設置される住民参加型清掃センター1建設に絡んでの刑事事件が多く報道されている。委員の身に危険がおよぶことはないのか。また、その保障はできるのか。  
〈市長〉心配はないと考えている。

地周辺の土地の値上りや買い上げを見込み選定地になる働き掛けがないのか懸念する。

ここ近年、清掃センター建設に絡んでの刑事事件が多く報道されている。委員の身に危険がおよぶことはないのか。また、その保障はできるのか。  
〈市長〉心配はないと考えている。



市民の足コミュニティバス

### Q 後半の市長の基本的な考えは

## A 個性ある魅力的なまちづくり



中谷 裕亮

〈質問〉均衡ある地域の発展は、どのようにするか。  
〈市長〉役割分担を示し、まちづくりを行う。

〈質問〉公共交通の具体的な構想は。  
〈市長〉限られた車輛で効率的運行ダイヤの構築など、便利な交通手段となるよう改良していく。

〈質問〉木津川市は京都府に次ぐ文化財があり、観光工課も出来たが、その活用は。  
〈市長〉観光資源を十分に生かし地元特産品なども活用し、PRに努める。

21年度予算編成と行革  
〈質問〉経済情勢に対応した予算編成なのか。  
〈市長〉真に必要な事業費を計上。

〈質問〉増収策・徴収率アップは。  
〈市長〉口座振替制度啓発と22年度からコンビニ納入制度を導入。





大西 宏

〈質問〉資源循環型対応とごみ処理コスト縮減の観点で3つの比較検証は。

〈市長〉近隣自治体連携の拡大施設案は、ごみ量のスケールメリットが相楽

〈質問〉市長の任期中に用地選定する決意は。

〈市長〉強い決意で、審議

〈質問〉農家と周辺の消費者を巻き込んだ都市農業の推進を。農業体験農園や農業担い手育成などを。

〈市長〉都市農業はJAなど農業団体や農家と協議推進。農業体験農園は木

担い手育成事業立上げを今夏に。JAと連携で安心安全な食料生産にとめ山城管内直売所と協議会で地産地消の強化をする。

## Q 清掃センター建設の観点は A 資源循環型で処理コスト縮減へ

地域では見込めない。

会を設置し選定を進める。

民間の産業廃棄物施設への委託案は、区域内で処理できない場合に限られ財政効果もさほど期待できない。資源循環型でごみ処理コスト縮減に向けて進めたい。

〈質問〉新設まで約10年間に、打越台が停止の不測事態への対応は。

〈市長〉民間施設や近隣自治体で緊急避難措置は可能。

### 都市農業の推進を

津南の集合農地地区で推進。



打越台環境センター



深山 國男

〈質問〉大いに行財政改革を進める21年度予算2億2800万円に、行財政改革はいかに反映されたか。

〈市長〉①職員駐車場を有料化し、使用料一年分計上。②公共施設の夜間警備を人から機械に変えた。

③財政調整基金の取り崩しが前年比1億7800万円減額された。

〈質問〉温室効果ガスの削減の予算を組み、ごみ袋の有料化も含め、市民と協働でごみの減量化に取り組むべきだ。

地域長の権限をなくせ

〈質問〉昨年の9月議会で要求した住民説明会を地域ごとに行わなかったのは、行政の職務怠慢である。

〈市長〉旧木津町・旧山城

〈質問〉地域長の独善と横暴があつてはならず、区長との事務連絡のみにすべきだ。

〈市長〉地域長と区長はそれぞれの仕事を分担してもらう。

## Q 21年度予算に行財政改革はあるか A 大いに行財政改革を進める

〈市長〉ごみ袋の有料化がごみ減量化に役立つのか検証したい。市民との協働で減量化を目指す。

町は区長会で了解をもらい、旧加茂町は一度説明会を行ったので了解されたと考えている。

バス路線社会実験の状況は

目標下回り厳しい状況

**Q** 使いやすく満足度の高いバス運行を目指しているが、4月からの実証運行へ移行するにあたり、今日までの実験状況と利便性の見直しは。

**A** 市長 社会実験の山城線は1日当り約30人の利用である。加茂地域は当尾線を除き目標を

下回り厳しい状況だ。

**Q** 区間運賃制の導入は。

**A** 市長公室長 関係事業者と調整、議論の中で検討する。

**Q** 土・日曜日の運行および時間帯の変更は。

**Q** 予約路線神童子地区の状況は。

**A** 市長公室長 予約型のメリットである効率性の高い運行ができて



伸政会  
七条 孝之

**A** 市長公室長 利用状況を見ながら経費の面から引き続き検討する。

**Q** 年代物の陶器等や旧3町の特産品は、市民が身近に鑑賞できるフロアに展示をすべきである。

市民サイドの展示を

**A** 市長 文化的価値があり盗難や破損が心配。一階の住民活動スペースを予定していたが、目が行き届く場所、2階エレベーター前を選ぶ。



市コミュニティバス山城線

保育を「カネ次第」にするな

国の動向を注意深く見守る

**Q** ①国の新しい保育の仕組みは市の保育責任をなくしカネ次第の保育にする。②待機児童を解消せよ。③病(後)児保育の実施。

**A** 市長 ①新方針の決定はこれから。国の動向を見守る。②22年度に新保育園を開園。新規に保育士を採用。③山城病院に要望中。

安全でおいしい学校給食

**Q** ①冷凍食品を減らし、地産地消を進めよ。②給食費の据え置き、一般会計から食材費を。

**A** 教育長 ①安全確認で国産を使用。地元食材使用を増やす。②21年度は現行のままで。

公立幼稚園は必要

**Q** ①開園できない幼稚園の園児を受入れよ。②誰がいつ運営するのか。③通園バスを増やし、園児に負担のない登園を。

**A** 教育長 ①希望者全員を受入れる。②22年からの運営を望む。③費用が増え、できない。



日本共産党  
宮嶋 良造

ワンコインバスを続けよ

**Q** 百円でこそ、乗客が増加。

**A** 市長公室長 運賃統一を検討中。高齢者や女性客が多い。受益者負担だけでは決めない。

カネを心配しない医療を

**Q** ①カネを心配しない医療。②無料低額診療事業の病院を広報紙で紹介せよ。

**A** 市長 ①相談窓口の利用促進を。保健福祉部長 ②調査し、検討する。



子育て支援を推進 (高の原幼稚園)

連携して地域医療の充実を

地域完結型医療に取り組みたい



まちびらきが待たれる木津中央地区

**Q** ①山城病院を核として、医師会との連携による地域医療の充実を図っていくべきだ。また、患者の医療情報を共有化することによって、緊急時の医療体制を整え、在宅医療を促せ。②妊婦健診14回の無料券は助産院でも使えるのか。

**A** 市長 ①山城南医療圏域として、その考え方はある。②妊婦健診券は助産院でも使える。

**Q** どの地域からも公立幼稚園に行けるよう

幼保二元化の取り組みを

**A** 市長 運営基準や職員の資格も違うので難しいが、施設経営の観点から今後、研究したい。



イレブンの会  
曾我千代子

**Q** 市では、木津川台・相楽・木津南地区の造成が終了、中央地区の造成が始まり平成23年にはまちびらぎの予定、25年には都市再生機構が撤退するが、北・東地区の開発中止が決定されてから5年になる、この地域の見通しは。

**A** 建設部長 平成17年に「木津地区まちづくり検討委員会」より、北地区は一般的な市街地としてではなく、自然環境を生かした土地利用。東地区は、高低差が少ないこと、南地区のインフラ整備が完了、インフラとの接続が容易であるた

木津北・東、開発中止から5年

『整備構想検討会』立ち上げ検討



伸政会  
山本 喜章

め、一部は民間開発等による宅地化と田園保全が提案された。委員会の提案実現に向け、平成20年7月に「木津東部丘陵持続可能都市整備構想検討会」を立ち上げ、北地区は里山再生、東地区は都市的土地利用の検討をし

ている。しかし両地区ともURが6割の土地を散的に保有、その処分方針も未定。残り4割が一般地権者である。URの撤退期限が迫るなか『学研都市建設計画』に基づき土地利用を図るよう、国、府レベルでの事態打開に向け働きかけを行う。

住民要望

**Q** ①バス乗車賃を100円に。②公民館などの施設は無料にして市民参加の推進を。③捨て犬を調教し、猿退治に活用を。

**A** 市長 ①運賃は、地域公共交通総合連携協議会で検討中。②21年度で市内の統一化を検討。③猿の防除対策は難しい。



地域医療の充実を（公立山城病院）

震災に立ち向う市の取り組みは

実効性ある自主防災組織を育てる

**Q** 阪神淡路大震災から学び、地震が発生した時に起る課題の解決に向け、各部署の取り組みは。

**A** 副市長 災害時、食糧などが必要な時には、市内の商業施設と応援協定を締結しており、必要な食糧や飲料水を確保する事になっている。

**総務部長** 自助、共助、公助の観点から、災害の被害を最小限に抑えるよう、市民、事業所、市、関係機関などが連携しながら防災対策を推進している。

**保健福祉部長** 災害時の安否確認や避難支援に社会福祉課を中心に関係各課との連携協力体制のもと、災害時要援護者台帳の整備中である。

**建設部長** 地域インフラとして重要な道路、河川、公園などを始め新設、改良、さらに維持管理を行う。災害に強いまちづくりを目指し、国・府への事業要望活動等を進め、施設整備する。



さくら会

吉元 善宏

時代は変わっても、  
変えてはいけない笑顔があります。



■2人で手をつないでツイストをする。  
呼吸を合わせて、前後左右に進む。

生涯健康で豊かに暮らすために

社会弱者に福祉配慮の街づくりを  
安心して暮らせる福祉都市の創造

**Q** 高齢者・障害者が明るく元気に暮らせる、子どもたちが健やかに育ち、笑顔で挨拶のできる街、世代を超え、学び合いい、癒し合える世の中を引継ぐため、どのような取り組みを考えるか。

**A** 保健福祉部長 誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造・危機管

理体制の確立・防犯対策の充実・住環境の改善などにより、この街で生涯豊かに暮らせる街を目指し、高齢者福祉・介護保険事業計画で社会参加促進のための条件を整備し、人に優しい街づくりの推進に傾注する。

弱者配慮の街並の在り方



さくら会

阪本 明治

**Q** 高齢者、足の不自由な方への配慮した道路整備を。

**A** 市長 国道相楽清水交差点改良は、公安委員会の協議図面を完成させ、京都国道事務所と連携し、今後事業実施に向け働きかけを強力に行

選挙関連でネット暴力は

**副市長** 木津南地区はURと移管準備を進め、中央道は府道への位置づけを求め、努めていく。

**Q** 時代が便利になる程、心が逆行か。サイバー暴力への対応は。

**A** 総務部長 政治活動使用のHPでも書き換えは新たな文書図面の頒布とみなす事あり。市も、今後動向に注視。





“恭仁京1/10”プロジェクト (2月4日)

懸案事項の利活用方針は

早期に改修・活用計画を出す

**Q** 旧山城町の懸案事項である山城支所、山城福祉センター、職員東駐車場のあり方、方向性、改修、活用計画は。

改修、活用計画を見出したい。

権限移譲の内容・対策は

**A** 市長 3つの施設を総合的に検討し、新庁舎が完成後早期対応の必要があり、地域審議会や地元の見解を踏まえながら、あり方、方向性、

**Q** 平成21年4月1日付、府より市町村に権限移譲が行われる。そこで、①権限移譲の内容。②受け入れ体制とPRは。③府の財政、人的支援は。

など6事務。②処理事務体制の整備と市民へのPRを行う。③特別交付金で措置、人的支援は、必要があれば府が適切に対応する。

瓶原の公共下水道は実現するか

効率・効果・経済性を検討する

**Q** 加茂町域での公共下水道の工事は無い。加茂污水处理場の計画人口は瓶原も含む1万6千人。瓶原もするべきではないか。

手法を検討する。21年度、政策会議、地域審議会にかける。

**A** 市長 事業費ベースで公共下水道と合併浄化槽との経済比較と市の財政状況等を勘案し、

数ある史跡、遺跡の今後

**Q** 発掘で遺構・遺物が、出土する。観光資源としてどう活用するか、ネットワーク化に向け計

画をたて、指針を示せ。  
**A** 教育部長 馬場南遺跡は、史跡指定、公有化、整備を順次進める。鹿背山瓦窯跡は「奈良山丘陵瓦窯跡群」として史跡指定を目指す。恭仁宮跡は整備委員会を立ち上げる。



伸政会 炭本 範子

公共施設の有効利活用は

**Q** 公共施設は、補助金適正化法の運用緩和により転用がしやすくなった。住民のニーズに応えよ。

**A** 市長 調査し、市有財産利活用検討委員会で決定する。加茂支所は、1階は図書館、3階は市の政策の一端を担う組織・団体へ貸付を検討する。



伸政会 西岡 政治

活動拠点施設の提供は

**Q** 木津川市社会福祉協議会会長から要望書が出されていると思うが、活動拠点施設提供に対する市長の考えは。

**A** 市長 合併効果を發揮するため、早期に活動拠点施設の提供ができるよう、引き続き努力する。



今後どうする山城支所

図書館予算や職員配置は公平か

適正配置し住民サービスに努める

**Q** 1市3館や学校図書館司書配置は他市との比較でもすばらしい。特色ある運営の努力を。職員配置や予算が公平でない。

**A** 教育部長 加茂図書館移設後の必要経費は今後検討したい。職員等は適正配置し住民サービスに努める。

専門職の司書は嘱託職員での雇用を考えよ。加茂図書館移設後の必要経費は補正予算されるのか。

市営住宅不足に補助を

**Q** 市営住宅が不足している。民間への賃貸

補助の自治体もあり、市も必要である。民間住宅入居の貸付制度も実施できないか。

**A** 建設部長 現在そのような制度は考えていないが、今後研究していきたい。



日本共産党 村城 恵子

養豚場解決に最後の詰めを

**Q** 赤田川養豚場問題は奈良県との連携が進んだが現状はどうか。完全解決まで努力を。市道の建物撤去はできるか。

**A** 生活環境部長 養豚場内の状況も把握し、糞尿処理の確認もできた。連携強化していく。

**建設部長** 撤去を求め内容証明で郵送した。今後、顧問弁護士とも検討する。

「心の健康」の取り組み姿勢は

積極的に心身の健康維持に努める

**Q** 全国の「メンタルヘルスの取り組み」に関する調査結果では、「心の病」は、過去3年間で、47・7%の自治体が増加傾向にある。背景には職場での助け合いやコミュニケーションが減少にあるとしている。管理職の研修、相談窓口の設置等

**A** 市長 対話の機会を増やし、職員の悩み、環境なども十分把握していきたい。

**市長公室長** 管理職を対象としたメンタルヘルス研修を積極的に取り入れる。また、日ごろ生活におけるストレスやメンタ



伸政会 中野 重高

**Q** 昨年の9月公用車について新庁舎移行後の見直しおよび効率的な管理運営方式の検討がな

効率化に向けた成果は

された。6カ月が経過した今、どのような成果があったか。

**A** 総務部長 購入から15年を経過した公用車が40台、公用車削減の基本原則で、廃車基準に合致するものは廃車する。新規購入によらず、配置換えなどで対応する。公用自転車5台を本庁へ配置、近距離移動時は積極的に利用する。



検討を待たれる公用車



移設を待つ加茂図書館



機能拡充が待たれる木津合同樋門

地元密着を最優先、商工会合併を

事務局レベルで合併準備検討会

**Q** 地元密着を最優先の  
3 商工会合併等の現  
状認識と見直しは。単一  
商工会の資産持ち寄り、  
新館建設費の負担などの  
問題点があると思うが市  
の対応は。

**A** 育成は。  
市長 3 商工会事務  
局レベルで合併準備  
検討会を立ち上げ、研修  
等を実施し準備を進めて  
いる現状だ。  
生活環境部長 全国に P  
R 等の絶好の機会で合併  
でエリア拡大により、地  
域のよさ、豊富な資源の  
魅力を引き出し、関連団  
体と意見交換し観光組織

合同樋門や赤田川樋門の改修を

今後国・府に強く要望していく

**Q** 天井川である木津川  
に大木が立ったり、  
大きな島ができていて、  
流量容積が減少し、大雨  
が降ると流入している川  
に水が逆流し、樋門を閉  
めることになる。せき止  
められた水は内水として、  
どんだんたまり、洪水が  
おこりかねない。木津で

は合同樋門、加茂では赤  
田川樋門などが、とくに  
多くの市民を被害にまき  
こむ可能性が大である。  
高山ダムができていると  
はいえ今の状態ではとて  
も不安である。これらの  
重要な樋門の改修・強制  
排水整備の施工を一日も  
早くするように、国や府へ



イレブンの会  
梶田 和良

作りを考える。  
市長公室長 新会館の分  
担金の関係は、山城・加  
茂の商工会に負担を求め  
ないと聞く。

赤田川樋門バイパス採択

**Q** 国・府に対する要望  
は。

**A** 市長 客観的に選定  
した。

**A** 副市長 赤田川樋門  
改修と狭あい区間整  
備事業評価委員会では採  
択された。

旧3町の候補地選定は

**Q** 清掃センター候補地  
1カ所絞り込みは、  
旧3町より選ぶべきで、  
買い足す事で確保でき、  
一つ問題が増えたように  
思う。



さくら会  
出栗 伸幸

強く働きかけてもらいた  
い。

**A** 市長 合同樋門は平  
成の初めに改修され  
たが閉鎖後の内水位の上  
昇不安は残っている。平  
成8年には水中ポンプ、  
10年には格納庫とクレ  
ーン設備を建設。国は内水

排除施設や堤防強化工事  
などは緊急性の高い所か  
ら実施。すぐ対応できな  
いとのこと。赤田川につ  
いては現在の樋門の上流  
側に水門を新設し、セミ  
バック堤方式で来年度か  
ら測量や設計に着手。今  
後も国・府に事業促進を  
強く要望していく。



合併協議の始まった商工会

公共水道活用に向け、条例制定を

環境面から研究する

**Q** ①現在、分担金の未徴収が監査請求されている。本件以外に未収の事例は。②長岡京市や京田辺市は、地盤沈下や水質確保の意味で井戸掘りに規制をしている。本市も実行せよ。

**A** **市長・上下水道部長**  
①本件以外にはない。②環境サイドで研究する。

対立構図の審議会はダメ

**Q** 将来に悔いを残さない焼却施設に向け、多方面の検討を。意思形成過程をオープンにし、審議会も今までのような行政対住民の構図では成功しない。パブリックコメントも含め、委員・市民主体の議論を。



眞弓 真羽

**A** **市長・生活環境部長**  
市民と行政がともに取り組めるよう、進めたい。奈良市との意見交換もしていく。

**Q** 自治法は、給与・手当は条例での定めが必要とある。条例に退職

条例の根拠がない手当

手当がない。市民への説明が足りない。  
**A** **市長公室長** 府退職組合で共同事務をしている。  
**障がい児と共に学ぶ**  
**Q** 肢体不自由児学級新設は、評価する。現場の不安解消に向けた取り組みを。  
**A** **教育長** 教職員へは説明済み。児童や保護者へは、今後行なう。



太陽光発電の住宅

地球温暖化防止に太陽光発電を

認識しているが財政面から検討

**Q** これから10年間にどんどん住宅が建設されると予想される。魅力あるまちづくりの一環として環境にやさしい太陽光発電にぜひ助成制度を。

**A** **市長** 環境に負担を与えないクリーンで、CO<sub>2</sub>を出さないと認識するが、財政的に考え、十

分検討する。

病後児保育の実施を

**Q** 6万8千人の町に、この事業がないのは安心できない。どう考えているのか。3月末でなくなる厚労省の緊急サポートネットワークをどう



公明党 島野 均

するのか。

**A** **保健福祉部長** 公立山城病院での受け入れには厳しい状況。今後協議を進める。現在利用されているネットワークなので、今年度も実施すべく検討する。

商工会・水道料金の統一

**Q** 商工業の発展のためにも、早く統合してはどうか。「水道料金及び下水道使用料審議会」の進捗状況はどうか。

**A** **生活環境部長・上下水道部長** 市として全面的に協力し合併へ向け協議されるよう望む。水道料金については3回協議し、議論中である。「舞台芸術体験を子どもたちに」の質問をした。



肢体不自由児学級を新設した州見台小学校





水質調査が行なわれた赤田川

児童クラブは第二の家庭

指導員会議にて情報収集し改善へ

**Q** ①放課後児童クラブの統一化が求められている。

②発達障害やネグレクトや虐待などの対応マニュアルで指導はしているか。

**A** 学校との連携、情報の共有はあるのか。③各クラブでは施設の不備が問題となっている。水回りや火の元、壁のがれ、機械の異常音等、危険と隣り合わせだが。

**A** 保健福祉部長 ①保育士の資格が必要

ために確保は困難。主任制度は無理である。

奈良市の産廃汚水が赤田川を汚染

産廃処分場の調査に行く

**Q** 奈良県のタウン誌によれば、奈良市の産廃最終処分場の排水処理施設が停止し、汚水がそのまま赤田川に入っている。府とともに、奈良市へ厳重な申し入れを。

**A** 市長・生活環境部長 指摘はその通り。3月、市独自に水質調査を行ったが、酸素、窒素、

大腸菌が基準値を超えていた。有害物質は検出されていない。今後、奈良市へ府とともに資料提供と対策を求める。

**Q** 市民からさまざまな苦情を聞く。機敏で丁寧な対応を。

市民と市役所のあり方



仲政会 伊藤紀味枝

**Q** 木津小学校の西側と北側の側溝に蓋を。

子どもたちに安全を

**Q** 職員の接遇が怠慢との声。また、名札が見えにくい。机の配置表を。

**A** 総務部長・市長公室 職員研修や課内

会議にて指導、名札は紐を短くし、配置表は全庁に設置。

**A** 建設部長 通学路との看板設置をする。蓋はすぐには無理。

新庁舎での稼働にあたり



日本共産党 酒井 弘一

**A** 市長・担当部長 市民が不愉快に感じたことは申し訳ない。さらに改善の努力を続ける。

敬老祝い品の座布団は現在一色を二色にする。自動販売機は市役所完成時に設置する。

文化財研究団体への支援

**Q** 馬場南遺跡の発掘継続を。ふるさと案内人や文化財保護団体への支援強化を。市の文化財保護室を「課」に。

**A** 担当部長 発掘の継続もありうる。補助金以外の支援も行っている。現在の組織体制で固定しない。



庁舎1階窓口の様子

# 組合議会報告

## 文化振興の 交付金を決定

(相楽郡広域事務組合)

2月16日に開会。

木村代表理事より、「政府は今年度末で広域行政圏計画策定要綱などを廃止する。当面の間、相楽の広域圏施策は継続する」など報告があった。

21年度一般会計予算は、総額6億5300万円。

21年度ふるさと市町村圏振興事業特別会計予算は、総額1330万円とするもので、相楽の文化を創るつどいへの補助金の増額や、新規事業である構成市町村への文化振興補助金の交付(木津川市は450万円)をめぐり、活発な質疑が行われた。

**全議案を全員賛成で可決**



相楽郡広域事務組合

## さらに装備の 近代化へ

(相楽中部消防組合)

12月24日開会。

東部出張所高規格救急自動車更新、通信指令装置の部分整備などの契約、また、消防人員体制に関して行革・大量退職などを含んだ採用計画の報告があった。

提出議案は4件。

19年度決算認定では、歳入が11億9266万円、歳出は11億5979万円となる。

また条例の一部改正2件、20年度補正予算では構成市町村の分担金が減額となり、木津川市は補正後8億7045万円となった。

**全議案を全員賛成で可決**

2月16日開会。  
28年度までに消防救急無線のデジタル化実施、住宅用火災警報器の設置促進などの7項目の報告があった。

人事案件3件に同意。

議案は4件。21年度一般会計予算は、歳入歳出12億3000万円を計上。

前年比で7700万円、5・9%の減額で、主な事業は、中部消防署の高規格救急車・東部出張所査察車の更新など。20年度補正予算は、341万

4千円を増額し、補正後12億8304万4千円とする。また、職員の給与や勤務体系等に関する条例改正が2件。

**全議案を全員賛成で可決**

## 清掃センター建設の 促進を決議

(相楽郡西部塵埃処理組合)

2月25日に開会。

21年度予算は、歳入歳出の総額3億8700万円、前年度より1250万円の減額。

主な内容は、焼却灰・ばいじん運搬業務の入札制度導入や焼却手数料の引き上げなど。その結果、

分担金・負担金が577万円の減額。基金からの繰り入れ金も本年はゼロ。

**全員賛成で可決**

「木津川市清掃センター建設に関する決議」。塵埃議会で5回の研修会を開き、清掃センター建設の説明を受けたが、一重要である用地が決定されていない。すみやかに建設地を最終決定するよう求めた決議。



制度運用を

めぐり議論

(京都府後期高齢者

医療広域連合)

2月13日に開会。

21年度一般会計予算11億7500万円。

歳入は市町村からの分賦金の他、不均一賦課にかかる国・府の負担金、臨時特例基金からの繰入金。

歳出は、運営経費の他、主に一時借入金利子、不均一賦課、特別高額共同事業事務費拠出金および予備費にかかる特別会計への繰り出し金。

21年度特別会計予算2597億4千万円。

歳入は、被保険者の保険料、政府管掌保険、国保等保険者からの支援金、法廷の国・府負担金および市町村負担金、臨時特例基金からの繰入金。歳出は医療給付費。

賛成多数で可決

法の改正による条例の一部改正。個人情報保護に関するもの、職員の勤務時間や休暇に関するもの。また、後期高齢者医療制度の円滑な運営を図るために、保険料の軽減措置として、

①被保険者均等割の7割軽減世帯の一部を9割軽減にする。

②所得割額を負担する方のうち所得の低い方を5割軽減する。

③被扶養者であった被保険者の均等割を21年度も9割軽減を継続すると、いうもの。

全員賛成で可決



公立山城病院のあり方検討委員会

保険医協会から出された「資格証明書の交付については、慎重にするように求める請願書」また「資格証明書の交付については、慎重にするように求める決議」は、いずれも「保険料を支払う者との不公平が生じる」という理由で、賛成少数で不採択になった。

府南部の中核病院をめざす

(国民健康保険山城病院組合)

12月25日開会。

19年度決算を認定

平成19年度病院事業会計決算は、2億4000万円の赤字。前年比入院患者1193人の増、外来2351人の減。特に医師不足の整形外科の患者数は、前年度比、入院3939人の減、外来1200人の減で病院事業収益に大きな影響を与えた。

全員賛成で認定



相模中部消防組合

19年度介護老人保健施設事業会計決算は、1億4500万円の赤字。19年4月2日から事業開始、入所利用者1日56人、通所利用者は1日11人。介護士離職率が高く、事業運営に大きく支障をきたした。

21年度病院事業会計予算の収益的収入は、7対1の看護体制導入などにより、57億6756万5千円を計上。

全員賛成で認定

2月17日開会。

「病院改革あり方検討委員会」で審議され、病院の目指す方向は府南部の中核病院、救急医療の

21年度介護老人保健施設事業会計予算は、入所者平均91人を見込み4億7573万3千円を計上。

全員賛成で可決

# わたしの意見

このコーナーへの投稿を、お待ちしております。



遠藤 奏さん  
(相楽台)

## 子どもたちに 安心できる 遊び場を

核家族化の中、共働きの家庭も増え子どもたちの居場所がなくなってきています。昨年私は、恭仁小学校の児童ク

ラブでアルバイトをしました。そこは昭和時代を想起させる木造校舎でした。子ども達からは、自分で作り出した遊びを教えてもらい、ご家庭からは、収穫されたお野菜を持って来て頂くなど素朴で温かいものを感じました。現在、子どもの居場所「この指とまれ」に参加させて頂いています。これからも子ども達が安心して楽しめる場に携わって行きたいと思いません。



村木 定子さん  
(加茂町例幣立川)

## 恭仁宮跡の新しい 資料の発行を！

我が家は恭仁宮跡の北側にあり、周りの景色は美しく、ゆつたりとしていて大好きだ。「ふるさと案内かも」の一員とし

て、訪れる人々に案内をする機会が多くなって来ました。ところが、市制発足以来、新しい発掘調査の成果が発表されたにもかかわらず、見学者に配布する資料は未だに古い物のまま、誠に残念の一言です。平城遷都千三百年を来年に控え、見学者の増加が見込まれるところですので。訪れる人々を受け入れる為に、最新の資料を作成、発行していただきたいと願っています。



田畑 義彦さん  
(山城町平尾)

## 定額給付金に 思う

やっと動き始めた経済対策の一つ、定額給付金の支払が決定し、各自自治体により、給付時期のバラツキは有るが、当木津川市は4月中旬に支

給するとの新聞報道に、今から何に使うか、家族と相談しながら、あれもほしい、これもほしい、又おいしいものを腹一杯贅沢に食べたいと、今から楽しみに色々考えているのは、私だけでしょうか。せっかくの給付金であるので、是非楽しんで有効に使いたいと思っています。市民の皆様方も、是非楽しんで使ってもらいたいと思います。

## お知らせ

5月11日(月)に臨時会が予定されています。  
6月定例会は6月5日(金)からはじまります。

## 編集後記

広報の作成は、時間のかかる大変な作業です。議会開会前から集まって「何ページで、どういう組み立てにするか」「表紙の写真は何にするか」などと話し合います。議会終了後は出された原稿を整理し、時には本会議や委員会のテープを聴きながらのまとめ作業です。

「木津川市議会としての広報の形的基础を作る時期なので関わりたい」と意欲を持って集まった委員達でしたが、このメンバーでの「議会だより」の作成は今回が最終です。5月の役員改選で入れ替わります。委員構成が替わりましても、引き続きのご愛読をお願い致します。

## 広報編集委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 村城 恵子  |
| 副委員長 | 呉羽 真弓  |
| 委員   | 伊藤 紀味枝 |
| 〃    | 島野 均   |
| 〃    | 炭本 範子  |
| 〃    | 酒井 弘一  |
| 〃    | 倉井 克伊  |
| 〃    | 曾我 千代子 |